

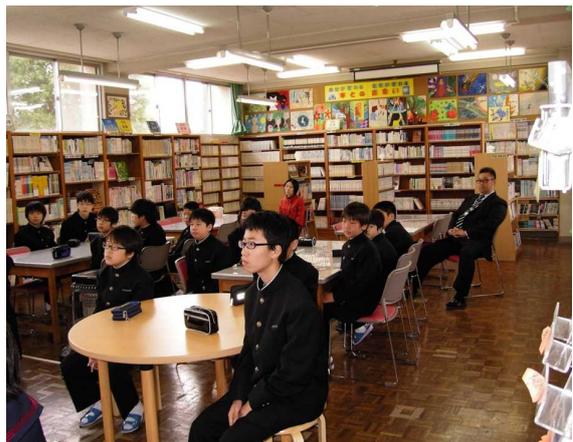
地元企業・おやじの会・保護者による地域貢献事業 (校内樹木剪定)



遠足で校区の外部人材を活用して、地域の伝説の語り部



職員室前質問コーナー・外部講師による授業・警察の交通安全指導



朝のあいさつ活動（生徒会・野球部・教職員・保護者等）



コミュニティ・スクールの制度を効果的に導入する上で重要なこと

内部環境、外部環境における課題の洗い出し

学校（教職員や保護者並びに生徒）の実態把握（分析）

- ・教職員の意識＝コミュニティ・スクールの導入、外部が学校運営に参画することについてなど
- ・PTAは学校に対してどのように思っているのかなど
- ・生徒の学習面や生徒指導面などの課題について

学校に対して、地域住民の思いはどうか？

- ・玖珠地区コミュニティ運営協議会（自治会）関係のあらゆる会議に参加して、地域の現状把握を行うとともに、学校の教育活動状況の説明も行ってきた。
- ・出来るだけ地域に足を運ぶ、4月～5月は10回程度開催された。
- ・出来るだけ地域の人のお話を聞く。自治委員へのアンケート実施など。
- ・「学校たより」等で、積極的に学校の情報の提供を行っていく。＝反応がある。

コミュニティ・スクールは、玖珠中学校の 内部環境と外部環境の課題解決のツール

内部環境(学校の問題点)の現状分析

外部環境と内部環境の摩擦

- 保護者や地域の様々な意見(ニーズ)が反映される仕組みが不十分。
- 学校が閉鎖的で地域に開かれ、信頼される学校づくりへの取組が不足。
- 地域は何らかの協力・支援をしたいが、その機会(仕組み等)が不明確。
- 学校評価等の分析結果について保護者や地域への情報伝達が不十分。
- 保護者や地域住民と教職員との相互の情報交換が不足。
- 組織的な活動場面よりも、個々の教職員の解釈と判断で活動している場面が多くあり、慣行や慣習で全体の歩調を整える動きがみられる組織。

外部環境(保護者や地域の問題点)の現状分析

- 保護者や地域が生徒指導上の課題や学力の状況について理解が薄かった。
- 地域住民が学校に対し意見や要望を言うことに遠慮して控えめであった。
- 地域住民が学校の教育活動の状況を知る手段が少なかった。
- 小学校は身近であったが、中学校は少し遠くなった(敷居が高いなど)という保護者、地域住民の意識がある。
- 子どもが在籍していた時は学校に協力してきたが、卒業後は関心が薄れた。
- 中学生のお祭りなどの地域行事への参画について、地域と学校の相互の意思疎通が不十分であった。

コミュニティ・スクールアンケート結果

学校評価に関するアンケート

内容1：家庭学習、あいさつ・返事、服装、マナー等

- ・あいさつや返事、服装、頭髪の家庭での指導は80%できている。
- ・家庭学習の習慣を身に付ける指導では60%と低い。
- ★ 規則正しい生活習慣と1時間以上の家庭学習が大切である。

内容2：学校の取り組みに対する評価

- ・教育活動に対する信頼 =92% (よく) あてはまる
- ・願いに応じる学校づくり =92% (よく) あてはまる
- ・家庭や地域との連携 =86% (よく) あてはまる
- ・学校を知らせる取り組み =90% (よく) あてはまる

保護者対象(回答率:95%超)

コミュニティ・スクールに関するアンケート

コミュニティスクール・アンケートの結果
回答者数<保護者・地域(自治委員)>

	第1学年	第2学年	第3学年	計	地域	合計
回収数	49名	55名	73名	177名	61名	238名
回収率	94%	95%	96%	95%	81%	91%

Q1 玖珠中はコミュニティ・スクールとしてスタートしたことを
知っていますか?

	保護者 (%)	地域 (%)	合計 (人)
はい	114 (67%)	36 (62%)	150
いいえ	56 (33%)	22 (38%)	78

保護者の67%は知っている。

Q3 玖珠中の教育内容や学校行事などの教育活動に関心がありますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計 (人)
ある、どちらかといえばある	143 (88%)	44 (76%)	187人
ない、どちらかといえばない	10 (6%)	7 (12%)	17人
わからない	10 (6%)	7 (12%)	17人
合計 (人)	163人	58人	221人

保護者：

「ある」「どちらかといえばある」との回答する割合は80%を超えており、関心を示していることがわかる。

地域：

7割以上が関心を示している。

Q4 玖珠中は地域の願いや声を聞いて教育活動をすすめていると思いますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかというと思う	126 (73%)	29 (50%)	155
思わない、 どちらかというと思わない	14 (8%)	8 (14%)	22
わからない	33 (19%)	21 (36%)	54

173人

58人

保護者：

70%以上が地域や保護者の声を聞いて教育活動をすすめていると「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。（そう思わないと回答する割合は10%未満である。）

地域：「わからない」が多いが、「どちらかというと思う」と同数である。

Q5 玖珠中は保護者や地域の方々との連携・交流のために努力していると思いますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかというと思う	145 (84%)	29 (52%)	174
思わない、 どちらかというと思わない	16 (9%)	8 (14%)	24
わからない	11 (7%)	19 (34%)	30

172人

56人

保護者：

80%以上が地域や保護者の方々との連携・協力のための努力をしていると「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。（そう思わないと回答する割合は10%未満である。）

地域：「わからない」を「思う・どちらかというそう思う」が上回っている。

Q6 玖珠中は教育活動や子どもの様子を地域に知らせる努力をしていると思いますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかというと思う	128 (75%)	37 (64%)	165
思わない、 どちらかというと思わない	25 (15%)	10 (17%)	35
わからない	18 (10%)	11 (19%)	29

171人

58人

保護者：

75%が「思う」「どちらかといえば思う」と回答しているがその割合は他の項目より低くなっている。

地域：「思う」割合が一番（3割以上）である。「学校たより」の影響が考えられる。

Q8 玖珠中の生徒はよくあいさつをしますか?

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかといえば思う	139 (81%)	32 (54%)	171
思わない、 どちらかといえば思わない	27 (16%)	17 (29%)	44
わからない	6 (3%)	10 (17%)	16

172人

59人

保護者：

「思う」「どちらかといえば思う」との回答は約80%である。「思わない」「どちらかというと思わない」という回答15%を受け止めたい。

地域：5割以が挨拶を評価している。

Q17 機会があれば、学校へボランティアとして協力や支援したいと思いますか?

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかといえば思う	127 (80%)	47 (80%)	174
思わない、 どちらかといえば思わない	16 (10%)	8 (14%)	24
わからない	16 (10%)	4 (6%)	20

159人

59人

保護者：

8割をこえる保護者が学校に対して協力やボランティア等の支援する気持ちを持っている。(声) 時間の許すかぎり支援したい (2年生保護者)

地域：8割をこえ支援する気持ちを持っている。保護者以上に関心がある。

コミュニティ・スクールを導入した成果

子どもたちはどう変わっているのか

学校と保護者や地域住民が情報を共有

家庭や地域と連携した指導

あいさつ、服装、態度がよくなった＝地域の声

学校が地域の信頼を得ることにつながる

地域の行事等に参加することで、地域から期待を持たれ、それを、子どもが感じることで、子どもの意識が変わって

地域の一員として